



# 道

2018年1月

一年前の正月に、この〈道〉通信を毎月一回発行すると酔った勢いで「抱負」の一つに掲げました。何をしても長続きしない僕ですが、内容はともあれどうにかこうにか一年間続けてきました。▼六月号で「僕の最期は癌がええかもしれん」と書いてひんしゅくを買います。九月号では「死を意識して死ぬまでをどう生きるか」と問い、十月号には亡き父のこと、酒のことを綴ります。その後、まさか十二月号で母を癌で看取りましたと書くようになるとは誰が想像したでしょう。〈道〉通信を止めることを考えました。▼母のいない餅つき。母の煮しめが作れない。雑煮で母の味が出せない。地域の付き合いで母に相談できない。……。この年末年始、母の不在をいろいろ思い知ります。不在がその存在を大きくします。一方で、母がそこにいるように感じることもありました（「霊」とかではなく）。「いる」ようで「いない」。「いない」けど「いる」。心の中かどこかに「いる」。▼飲んで食べて寝て、だらだらぐずぐずの正月を過ごすなかで思い至りました。――〈道〉通信を続けよう。これは僕の存在証明のようなものかもしれない。あまり肩ひじ張らずに周囲を意識しすぎないでその時々のお思を書いている。▼右下には我が家から歩いて数分のところにある「神様の樹」の月々の写真を掲載します。上の写真は初日の出ではなく二日のものです。元旦の朝は酒気帯び状態でした。今年、よろしくお願いいたします。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

090-5366-1497

[michi-care@outlook.jp](mailto:michi-care@outlook.jp)

<https://michi-care.jimdo.com/>



遠田 椋の木

